

がんセンター 便り

 宮城県立がんセンター地域医療連携室



集学治療棟完成記念特集



三浦副知事



院長 片倉 隆一

平成 25 年 10 月から、集学治療棟が本格稼働します。がん医療を行っていくうえで放射線療法は重要な治療手段であり、その技術進

歩は目を見張るものがあります。近年では陽子線や重粒子を用いた粒子線治療も注目されてきております。

一方で、既存の X 線・ γ 線を用いた新しい治療機器もいくつか開発されてきています。その中で、画像診断技術の進歩を利用し、放射線照射部位を正確に制御し、周辺正常組織への照射を極力回避した、現時点では最も理想的な照射法とされる強度変調放射線治療（IMRT）があります。その IMRT 専用機器であるトモセラピーが県内で初めて、当センターに増設された集学治療棟に導入されました。



がんセンター総長 西條 茂

見学会

化学療法室



トモセラピー



同時にがん診断には不可欠なPETも導入されました。しばらくは、当センター外来患者さんに行っていきますが、将来的には、院外からの患者さんやがん検診に役立たせていきたいと考えています。

また、手狭になった外来化学療法室も増設されました。20床からスタートしますが、将来は30床まで増床可能になっています。長閑な田園風景を眺めながら治療が受けられる環境となりました。

この集学治療棟の開設を記念して、開設記念式典が9月5日に開催されました。宮城県知事をはじめ多くの関係者にご参列をいただきました。また、9月14日には当センターと連携しております医療機関を対象としまして内覧会と祝賀会も開催させていただきました。

宮城県立がんセンターは、常に良質かつ先進的がん医療の提供を目指しておりますが、今回その目標を進めるための強力な診断・治療手段を新たに整備することができました。

今後もより高度ながん医療を目指し職員一同進んでいきますので、今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。

(文：院長 片倉 隆一)



記念講演

東北大学病院
放射線治療科教授 神宮 啓一先生

化学療法室

窓からは田園風景と新幹線が望めます。





Tomotherapy

トモセラピー

腫瘍に放射線を集中させ、正常組織の線量を低減できる強度変調放射線治療（IMRT）の専用機です。従来のリニアック装置では行えなかった治療ビームによるCT撮影の機能を備えています。この機能を使用することにより、治療を行う直前にCT撮影を行い、治療部位の正確な位置合わせが可能となりました。



トモセラピーの室内は、山奥の温泉に野山を散策しながら行くようなイメージで装飾されています。



PET-CT

全身を一度に検査でき、がんの発見に威力を発揮します。



PET-CT 安静室

薬剤が全身にいきわたるまで、約1時間安静にします。



PET-CT 検査は、体内に FDG というブドウ糖に類似した放射性薬剤を投与（注射）し、その薬剤が体内に集積する分布を画像としてとらえます。

- 1) がんが存在するか否か（存在診断）
 - 2) がんの進行度合い（病期診断）
 - 3) 治療効果の評価（治療法の評価）
 - 4) 治療後の経過観察（再発の診断）
- 等の目的で使用されます。

第2放射線診療部門受付
地下2階

- PET-CT
- トモセラピーは
集学治療棟の地下2階です

研修会のお知らせ

第5回 宮城県立がんセンター 看護部公開研修会

「がん患者の家族ケア」

日 時：平成25年11月16日（土）9：30～11：45

場 所：宮城県立がんセンター1階 大会議室

対 象：医療・福祉関係施設、在宅ケア等に従事する方（職種は問いません）

定 員：80名（定員になり次第締め切らせていただきます）

*別途申し込みが必要となります。



外来新患診療体制表

平成25年10月現在



（宮城県立がんセンター）

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科	新患	●	●	●	●	●
	専門外来	肝臓	肝臓	上部消化管・胆	肝胆膵・下部	上部消化管
血液内科		●	●	●	●	●
腫瘍内科		●	●	●	●	●
呼吸器内科		●	●	●	●	●
呼吸器外科		●	●	●	●	●
乳腺科		●	●	●	●	●
消化器外科		●	●	●	●	●
整形外科		●	●	●	●	●
脳神経外科		●	●	●	●	●
頭頸科(耳鼻咽喉科)		●	●	●	●	●
形成外科		●	●	●	●	●
婦人科		●	●	●	●	●
泌尿器科		●	●	●	●	●
放射線治療科		●	●	●	●	●
緩和医療科		●	●	●	●	●

*消化器科では、専門外来の診察日にも紹介患者さんの予約を受け付けております。お申し込みの際にご確認下さい。
 診療受付時間：午前8時30分～11時00分 TEL 022-384-3151(代) FAX 022-381-1169 (地域医療連携室)



交通案内

J 桜交 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
R 南交 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用
自家用車 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用
 仙台南インターからは、国道286号バイパス経由
 県道仙台・岩沼線を利用 (所要時間約15分)

地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

- 受付 午前8時30分～午後5時15分
- TEL (022) 381-5152 (直通)
- (022) 384-3151 (代) 内線115
- FAX (022) 381-1169

宮城県立がんセンター
 〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
 電話(代表) (022) 384-3151 FAX(企画総務課) (022) 381-1168

□ゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。